



高齢者の定期予防接種のお知らせ

带状疱疹ワクチン

◇定期接種対象者

- ① **年度内**に65、70、75、80、85、90、95、100歳になる方
- ② 60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方
※令和7年度から5年間の経過措置として、65～100歳までの5歳刻みで、**過去に带状疱疹の予防接種を受けたことのない方**が順次定期接種の対象となります。年度によって対象者が異なるため、接種の機会を逃がさないようご注意ください。
※令和7年度に限り、100歳以上の方は全員対象となります。



◇対象期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

◇自己負担額等

ワクチンの種類	接種回数	接種スケジュール	自己負担額
生ワクチン	1回(皮下接種)	—	2500円
組換えワクチン	2回(筋肉内接種)	2カ月以上の間隔を置いて2回接種	6500円／回

※生活保護世帯は無料(生活保護受給証明書が必要)

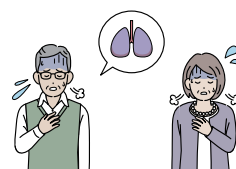
- ◇接種できる医療機関：町内医療機関もしくはかかりつけ医(事前に医療機関にお問い合わせください)
※県外医療機関で接種される場合は、保健センターで「事前申請・接種医療機関への依頼書」の発行が必要です。接種前に必ず連絡をしてください。

! 組み換えワクチンの接種を希望される場合は、対象期間内に2回目の接種が完了できるよう、令和8年1月中には1回目の接種を済まされてください。令和8年4月以降は全額自己負担となります。

高齢者肺炎球菌ワクチン

◇定期接種対象となる方(①、②、③を通じて生涯で1回のみ)

- ① 65歳の方



! 定期接種の機会とは65歳の誕生日から66歳を迎えるまでの1年間です。
対象の方で、接種を希望する方は、接種の機会を逃がさないようご注意ください。

- ② 60～64歳で心臓や腎臓、呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活を極度に制限される方
- ③ 60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方
※過去に23価肺炎球菌多糖サッカライドワクチンを接種したことがある方は対象外です。

◇自己負担額：2500円(生活保護世帯の方は無料※生活保護受給証明書が必要)

◇接種できる医療機関：町内医療機関もしくはかかりつけ医(事前に医療機関にお問い合わせください)

※県外医療機関で接種される場合は、保健センターで事前申請・接種医療機関への依頼書の発行が必要です。接種前に必ずご連絡ください。

※各予防接種の詳細につきましては、町ホームページをご覧ください。 [高千穂町 検診・予防接種 検索](#)
お問い合わせ：保健センターげんき荘 健康づくり係 ☎73-1717

佐藤イサさんが、めでたく100歳を迎えられました。

イサさんは、7人兄弟の3番目として岩戸(上永の内)で生まれ、県立高千穂実業学校女子部を卒業後は家の農業を手伝い、20歳のときに榮男さん(15年前に他界)と結婚しました。

榮男さんが陸軍学校の教官であったことから、結婚後は岡山や熊本などで過ごし、終戦後に高千穂に戻りました。

米やたばこ、牛やブロイラーなどの農業をしながら10人の子どもを育て、現在では孫13人、ひ孫17人、玄孫2人と恵まれています。

イサさんは運動が得意で、60歳過ぎでの祖母山登山や80歳をすぎまでバイクに乗っていたそうです。また、高校生の頃から詠み始めた俳句では、95歳で特選をもらうほどの腕前ようです。

ご家族の話では「トンチが利き、遠慮なく何でもすぐ口に出すことがストレスをためずに長生きする秘訣ではないのかな」とおっしゃっていました。

現在、イサさんは施設に入居していますが、二女のくにさんは「これからも楽しんで長生きしてほしい」と話しました。



佐藤 イサさん(大正14年8月3日生)

「落葉道 かさこそ歩く ちさい足」
「この嫁と 長く生きたし 桐の花」

100歳のお誕生日 おめでとうございます これからもお元気でお過ごしください



田尻 トミさん(大正14年8月5日生)

田尻トミさんが、めでたく100歳を迎えられました。
トミさんは、9人兄弟の3番目として三田井(上川登)で生まれました。

尋常高等小学校を卒業後は家の農業を手伝い、18歳で吉さんと結婚をしましたが、戦争で亡くなったため、21歳の時に吉さんの弟の光さん(8年前に他界)と結婚しました。

結婚後は、養蚕などの農業や田上薬局に勤めながら5人の子どもを育て、現在では孫15人、ひ孫22人、玄孫3人と恵まれています。

トミさんは、96歳まで鋤や鎌を持って毎日のように畑に出掛けは野菜作りをしていたそうで、寝込んだ姿を見た記憶がないとのことでした。また、好き嫌いなく何でもよく食べ、趣味のカラオケや編み物などの手芸

で手先を使ったり、体をよく動かしていたことが長生きの秘訣ではいかと家族はおっしゃっていました。

現在、トミさんは施設に入所していますが、長男の元宏さんは「体調が心配だが、これからも長生きしてほしい」と話しました。